

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	オペレーティングシステム論		
英文授業科目名	Operating Systems		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	河野 健二		
居室	西9-533		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kono@cs.uec.ac.jp	http://hermes.cs.uec.ac.jp/~kono/os/

【主題および達成目標】

Linux や Windows XP などのオペレーティングシステム (OS) の役割は、裸のままでは扱いにくいハードウェアを抽象化し、より扱いやすい仮想的な計算機としてユーザに見せることである。OS の歴史は古く、現在の商用 OS はさまざまな概念やその実装技術の集大成となっている。本講義では、古典的な OS を対象に、その基礎概念と実装技術について講義を行い、OS の内部構造について理解を深めることを目標とする。さらに、最先端の OS をいくつか取り上げ、先進的な諸技術についても触れる。

【前もって履修しておくべき科目】

計算機通論，プログラミング通論，アルゴリズムとデータ構造

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

言語処理系論（第5学期に同時開講）

【教科書等】

Operating Systems: Internals and Design Principles (THIRD EDITION)

William Stallings, Prentice Hall

の内容に沿って講義を行う。

【授業内容とその進め方】

プロジェクトを使って講義を行う。また、講義内容をまとめたレジュメを配布する。講義で使用したスライドおよびレジュメは、PDF 形式でウェブ・ページからダウンロードできるようにする。出席はとらない。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

筆記試験を行う。筆記試験とは別に簡単なレポートを出題する。このレポートは提出する必要はないが、レポートを提出した場合は筆記試験の点数に加算される。単位取得には、古典的なオペレーティングシステムを構成する基本的な概念（プロセス、アドレス空間、スケジューリング、仮想記憶等）を理解し、その実現方法の概要を理解できていることが求められる。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

【その他】